

【別表D】 2021年度 データ・資料一覧表

地震研究所の「公開データベース」<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/publication/>もご参照ください。

本施設、機器、装置を利用し、研究成果を論文等で発表される場合は、謝辞に、以下の東京大学地震研究所共同利用により援助を受けた旨を記載することが、義務となります。また、その別刷やデータ（PDF、配布元URL情報でも可）などを、本研究所の研究支援チーム（共同利用担当）へ必ず提出してください。

（謝辞記載例：共同利用コード「2009-D-01」のデータ・資料を使用した場合）

【英文】：This study was supported by ERI JURP 2009-D-01.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2009-D-01)の援助を受けました。

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
2021-D-01 WWSSN地震記象マイクロフィルム/フィッシュ	○古地震・古津波記録委員会（鶴岡 弘）	要予約。用紙等については予約時に問い合わせを欲しい。 http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/wwssn/filmist.html	随時
2021-D-02 歴史地震記象	○古地震・古津波記録委員会（鶴岡 弘）	原則としてマイクロフィルムを利用。原記録は職員立ち合いのもとで利用すること。 http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/susu/	随時
2021-D-03 旧測候所報告・古新聞切抜き・国際地震観測報告等	○古地震・古津波記録委員会（鶴岡 弘）	資料室でコピー可。 旧測候所報告： http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/record-J/index.html 国際地震観測報告： http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/record-W/index.html	随時
2021-D-04 観測開発基盤センター地震データ	○小原 一成	大学間の取り決めに基いて利用すること。	－
2021-D-05 衛星通信等を用いた全国地震観測システムデータ受信利用	○小原 一成	「衛星通信地震観測システムデータ受信利用規定」に基いて申請すること。（様式S-1） http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/data_jushin_riyou.htm	－
2021-D-06 国立大学微小地震観測網カタログ(JUNEC)	○地震火山情報センター長	震源データはanonymous FTP で利用可。 ftp://ftp.eri.u-tokyo.ac.jp/pub/data/junec/ 検測データは大学間の取り決めに基いてCDにて提供可。（ただし、担当教員に利用申請を提出のこと）。	随時
2021-D-07 浅間、伊豆大島、霧島、富士の火山データ	○火山噴火予知研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
2021-D-08 広帯域地震波形データ	○海半球観測研究センター長	特になし。 http://ohpdmc.eri.u-tokyo.ac.jp/dataset/permanent/seismological/index.html	随時
2021-D-09 新J-array地震波形データ	○地震火山情報センター長	ホームページから利用可。 http://jarray.eri.u-tokyo.ac.jp/	随時
2021-D-10 1993年日光周辺域合同地震観測データ	○小原 一成	1993年合同観測参加者。	随時
2021-D-11 強震記録（主として駿河湾、伊豆半島観測網、足柄観測網のデータ）	○三宅 弘恵	http://smsd.eri.u-tokyo.ac.jp/smad/	随時
2021-D-12 歴史地震の古文書及びその解読文	○加納 靖之	特になし。 「東京大学地震研究所図書室特別資料データベース」 http://www.eic.eri.u-tokyo.ac.jp/tokubetsu/ のうち、コレクション名02 (-1, 2, 3)の地震史料のオリジナル（複写）と解読文。	随時
2021-D-13 地球電磁気データベース	○上嶋 誠	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2021-D-14 八ヶ岳地球電磁気観測所速報データ	○小河 勉	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2021-D-15 地殻熱流量データセット	○山野 誠	特になし。 日本列島を含む北西太平洋地域の地殻熱流量データをまとめたものである。 対象範囲は北緯0～60度、東経120～160度で、フィリピン海、日本海、オホーツク海の全域をカバーしている。データファイルに含まれる項目は、測点名、緯度・経度、標高または水深、温度測定点数と最大深度、温度勾配、熱伝導率とその測定数、熱流量、及び文献とその出版年である。原則として、公表されている測定値をそのまま収録しているが、熱流量の値が0以下のものは除いてある。潜水船・ROVを用いて測定した値、及びガス・ハイドレートによる音響反射面の深度から推定した値は含めていない。	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
2021-D-16 日本全国空中写真	○図書室	活断層調査や地震・火山・テクトニクスなどの研究のためであること。図書職員に申し出て利用すること。 http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/airphoto/shiryoushitu.htm	随時
2021-D-17 津波波形画像データ	○古地震・古津波記録委員会(鶴岡 弘)	地震研の公開データベースの津波波形画像検索システム http://www.eic.eri.u-tokyo.ac.jp/tsunamidb/ より申請して利用すること。利用資格は地震研究所共同利用に準ずる。	随時
2021-D-18 超伝導重力計観測データ	○今西 祐一	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2021-D-19 首都直下地震防災・減災特別プロジェクトデータ(2008-2011)	○小原 一成	事前に担当教員と打ち合わせること。 http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/shuto/index.html	随時
2021-D-20 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクトデータ(2012-2016)	○小原 一成	事前に担当教員と打ち合わせること。 http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/toshi/	随時

【別表F】 2021年度 施設・観測機器・実験装置等一覧表

本表の詳細については共同利用HP (<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/>) をご参照ください。

本施設、機器、装置を利用し、研究成果を論文等で発表される場合は、謝辞に、以下の東京大学地震研究所共同利用により援助を受けた旨を記載することが、義務となります。また、その別刷やデータ (PDF、配布元URL情報でも可) などを、本研究所の研究支援チーム (共同利用担当) へ必ず提出してください。

(謝辞記載例：共同利用コード「2009-F-01」の施設・観測機器・実験装置を使用した場合)

【英文】：This study was supported by ERI JURP 2009-F-01.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2009-F-01)の援助を受けました。

(観測施設)

共同利用コード 及び名称	観測施設に関する情報	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-F1-01 筑波地震観測所 油壺地殻変動観測所 鋸山地殻変動観測所 和歌山地震観測所 広島地震観測所 堂平地震観測所 信越地震観測所 富士川地殻変動観測所 室戸地殻変動観測所 本所周辺観測施設・観測 設備	鋸山： http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/GOP/ngy.html 和歌山： http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/WSO/index.html 富士川： http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/fujigawa/indexJ.html 室戸： http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/GOP/Mrt/indexM.html	○観測開発基 盤センター長		—
2021-F1-02 八ヶ岳地球電磁気観測所		○小河 勉	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2021-F1-03 浅間火山観測所 小諸地震火山観測所 伊豆大島火山観測所 霧島火山観測所		○観測開発基 盤センター長		—

(野外观測機器等)

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-F2-01 衛星通信等を用いた全国 地震観測システムデータ 受信専用装置	http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/d_ata_jushin_riyou.htm 1 式	○小原 一成	設置、設定、維持は利用者で行うことが条件であるが、事前に担当教員と打ち合わせること。別途、データ受信に関する利用申請が必要。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-F2-02 移動用地震観測機器 (衛星・地上テレメータ 装置、地震計、データロ ガー)	1 式 http://eoc.eri.u- tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/vs at_riyou.htm http://eoc.eri.u- tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/c hijo_souti.htm	○小原 一成	担当教員とよく連絡をとること。特定共同研究で使用中は利用できないことがある。	随時
2021-F2-04 高精度広帯域MT観測装 置	Metronix社 1)本体部 ADU07e観測装置 22 台 ADU08e観測装置 2 台 2)誘導コイル MFS06 24 本 MFS07 4 本 MFS06e 16 本 MFS07e 30 本 Phoenix社 1)誘導コイル MTC50 3 本 磁場3成分、電場2成分を測定可能。サンプル 周波数は、ADU07(e)は524KHzより2 ⁿ Hz. Phoenix社の装置はコイルのみ。 あわせて、電位測定用電極(ハンガリーMLタ イプ)、リチウムバッテリー、大容量鉛蓄電 池(G&Yu SMF27MS-730)などの付属品も多 数貸出可能。	○上嶋 誠	事前に担当教員と打ち合わせること。共同観測等使用中の期間を除く。	随時
2021-F2-05 長基線電位差測定装置	アドシステム社8チャンネル 20 台 20bit地電位差測定装置SES93 同社データ転送ユニット 20 台 SESNET93 サンプル間隔は0.1, 1, 10s.	○上嶋 誠	事前に担当教員と打ち合わせること。共同観測等使用中の期間を除く。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-F2-06※ <u>海底地殻熱流量測定装置</u> 一式	複数の温度センサーを取り付け たプローブを海底に突き刺すこ とにより、温度勾配を測定し、 地殻熱流量を求めるための装 置。重錘、プローブ、温度セン サー、データロガー、ピンガー からなる。 この他、別途採取した海底堆積 物の熱伝導率を測定するため の、「迅速熱伝導率計」（京都 電子QTM-500）も利用可能であ る。	1 式 1 台	○山野 誠 同種の装置の使用経験者また は共同研究に限る。	随時
2021-F2-07 <u>可搬型広帯域地震観測シ</u> ステム(1)	広帯域地震計：CMG3T, STS2 収録計：REFTEK130 合計	40 セット	○竹内 希 取得したデータは、観測終了 後一定期間（2~3年）の後、 地震研究所・海半球観測研究 センター・データセンターか ら公開することとする。 事前に担当教員と打ち合わせ ること。	随時
2021-F2-08※ <u>可搬型広帯域地震観測シ</u> ステム(2)	ナネメトリクス社（カナダ） 広帯域地震計 Trillium120PA	14 台	○及川 純 事前に担当教員と打ち合わせ ること。	随時
2021-F2-09※ <u>絶対重力計</u>	Microg-LaCoste（米国） FG5型絶対重力計 公称精度1-2microgal	2 台	○今西 祐一 事前に担当教員と打ち合わせ ること。	随時
2021-F2-10※ <u>ラコステ重力計および重</u> <u>力解析ソフトウェア</u>	LaCoste&Romberg社（米国）ス プリング型相対重力計（陸上 用）	2 台	○今西 祐一 貸出しの際、必要に応じて講 習を受けること。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-F2-11※ <u>可搬型強震観測システム</u>	可搬型強震観測システム (SMAR-6A3P改) アンプ搭載筐体 16 台 (センサーは全てアカシ製 JEP-6A3P ; 1V/G) アンプ無し筐体 5 台 (センサーは全てアカシ製 JEP-6A3P ; 10V/G) ロガー 白山工業製 LS-7000XT 10 台 ロガー 白山工業製 LS-7000 10 台 ※筐体とロガーを組み合わせて1式として貸 し出します。 ※貸出可能最大数20式。 ※アンプゲインは1, 20, 50, 100倍と0.1, 1, 10, 100倍の2段組み合わせの掛け算となります。	○三宅 弘恵	事前に担当教員と打ち合わせ ること。	随時
2021-F2-12 <u>火山ガス観測システム</u>	火山ガス観測システム 1 台	○及川 純	事前に担当教員と打ち合わせ ること。	随時
2021-F2-13 <u>超長周期電磁場測定装置</u>	ウクライナ製フラックスゲート磁力計MT観 測装置 LEMI-417 6 台 磁場3成分、電場4成分を毎秒で測定可能。	○上嶋 誠、 清水 久芳	事前に担当教員と打ち合わせ ること。共同観測等で使用中 の期間を除く。	随時
2021-F2-14 <u>高精度方位決定ジャイロ 装置</u>	SOKIA社製GP1X手動ジャイロ 1 式 ステーション 測定精度は20秒角。	○上嶋 誠、 清水 久芳	事前に担当教員と打ち合わせ ること。	随時
2021-F2-15※ <u>深海用3D流向流速計測 システム</u>	NORTEK社製Aquadopp-6000m 1 台 (<a href="http://www.nortek-
as.com/en/products/CurrentMeter/Aquadop
p6k">http://www.nortek- as.com/en/products/CurrentMeter/Aquadop p6k) 上記のドップラー方式流向流速計とチタン球 トランスポンダシステムを組み合わせ、流速 計へ外部電源供給することで10秒間隔・1年 程度の観測を可能とした、自己浮上型の海底 観測システム。流速計を単体で使用するこ とも可能。	○塩原 肇	事前に担当教員と打ち合わせ ること。	随時
2021-F2-16 <u>高精度広帯域電場観測装 置</u>	NTシステムデザイン社製Elog1k 17 台 型広帯域2成分電場測定装置 1024Hz, 32Hzにて24bitで電場を測定。 低消費電力 (1.8W)	○上嶋 誠	事前に担当教員と打ち合わせ ること。	随時

(室内実験計測装置等)

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-F3-01 制御震源装置一式	IVI社製油圧バイブレーター震源 1 式 T-15000	○石山 達也	機器の取り扱いに習熟していること。事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2021-F3-02 地震火山情報センター計算機システム	https://eic-support.eri.u-tokyo.ac.jp/ 1 式	○地震火山情報センター長	学術研究と認められないもの、本所設置目的から著しく外れているものは利用できない。詳細は本センター利用規定による。共同利用経費を必要としない場合は、直接本センターに利用申請する。	随時
2021-F3-03 岩石破壊実験装置一式 荷重及び変位信号AD変換・処理装置	http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/gijyutsubu/jikken/ 1 式	○吉田 真吾、中谷 正生	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2021-F3-05 蛍光X線分析装置	RIGAKU社製 1 台 波長分散型蛍光X線分析装置 ZSX Primus II http://www.rigaku.com/ja/products/xrf/primus2	○安田 敦	事前の講習会を受講していること(年2回開催予定)。実験用消耗品については各自用意すること。	—
2021-F3-06※ 地震計測定震動台	エミック社振動試験装置F-1400BD/LAS15 1 台 水平あるいは垂直の1軸電磁式振動台。	○新谷 昌人	使用説明と日程等の調整のため事前に担当教員に連絡すること。装置は自己運転を原則とする。	随時
2021-F3-07※ レーザー発振装置	ネオアーク社波長安定化レーザー 1 式 波長633nmの赤色光の安定化レーザー光源。	○新谷 昌人	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2021-F3-08 全国地震データ等利用システム装置	全国地震データ等利用システム装置 8 式	○地震火山情報センター長	全国の地震波形データ等を整備し提供する装置。地震観測を実施している全国の大学に設置され共同で運用されている。担当教員との相談による。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-F3-09 カールフィッシャー水分 計	京都電子工業株式会社製 カールフィッシャー水分(電量 滴定方式) <MKC-610> 1 台 http://www.kyoto-kem.com/en/product- category/karl/ 鉍石用水分気化装置 <ADP-512> 1 台 http://www.kyoto- kem.com/ja/product/adp512/	○三部 賢治	機器の取り扱いに習熟していること。事前に担当教員との打合せが必要。実験消耗品については各自用意すること。	随時
2021-F3-10 湿式レーザー粒度分析計	Sympatec社製レーザー回折式粒 1 式 度分析装置HELOS/KF- RODOS-QUIXELシステム http://www.sympatec.com/JP/LaserDiffraction/f-series/HELOS.html	○前野 深	使用説明と日程等の調整のために事前に担当教員との打合せが必要。	随時
2021-F3-11※ 温度計校正器一式	フルーク社 1586A, 9142, 7103他 1 セット 恒温槽 (-30℃から150℃) や温度計の出力信号をスキャンする一連の機器。	○中谷 正生	使用説明と日程等の調整のため事前に担当教員に連絡すること。装置は自己運転を原則とする。	随時
2021-F3-12 大規模連続地震波形データ解析システム	全国の地震波形データを格納し、解析する装置。 ユーザ自らがプログラムを作成して解析を行う。最低限のツールのみ用意されている。	○中川 茂樹	装置の利用は事前に担当教員と打ち合わせ、地震火山情報センター計算機システム(2021-F3-02)の利用申請を済ませていること。データの利用については、大学間の取り決めに基づいて、別途所要の手続きを行うこと。	随時

※地震研共同利用HPにて、写真やカタログ等、より詳細な情報を掲載しています。

【別表M】 特定機器 一覧表

本別表に記載の特定機器について、2ヵ月以上の長期利用を希望する場合には、利用希望年度の前年度に行われる特定機器利用公募に申請してください。2ヵ月未満の短期利用については、随時、申請を受け付けています。

本機器、装置を利用し、研究成果を論文等で発表される場合は、謝辞に、以下の東京大学地震研究所共同利用により援助を受けた旨を記載することが、義務となります。また、その別刷やデータ（PDF、配布元URL情報でも可）などを、本研究所の研究支援チーム（共同利用担当）へ必ず提出してください。

（謝辞記載例：共同利用コード「2009-M-01」および「2009-M-02」の観測機器を使用した場合）

【英文】：This study was supported by ERI JURP 2009-M-01 and 2009-M-02.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2009-M-01, 2009-M-02)の援助を受けました。

（特定機器）

共同利用コード 及び機器名称	機器に関する情報 (型番、台数等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-M-01 低消費電力型データロガー	HKS-9700a-0505 30 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-02 HKS-9700a-0505専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkII 30 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-03 小型データ収録装置(ペリカンBOX入り)	LS8800 49 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-04 LS8800(ペリカンBOX入り)専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkIII 49 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-05 小型データ収録装置（青色コンテナ入り）	LS8800 35 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-06 LS8800（青色コンテナ入り）専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkII 35 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-07 単チャンネル式高精度データ収録装置	LS8200SD 300 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-08 LS8200SD専用地震計（4.5Hz, 上下動成分）	SG820 300 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-09 独立型地震観測装置	GSX3 50 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時

共同利用コード 及び機器名称	機器に関する情報 (型番、台数等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2021-M-10 GSX3専用地震計 (4.5Hz,3成分)	GS-11D 3C 50 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-11 地震観測用大容量デジタルレコー ダ	DAT5/DAT5A 50 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-12 DAT5/5A専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkII 50 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-13 NanoLMetrics データロガー	Centaur digital recorder 6 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-14 広帯域地震計	Trillium-120PA 6 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-15 広帯域地震計	TS17840/Trillium-120PA 15 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時
2021-M-16 地震火山観測用計測ユニット	LF-1100R/LF-2100R 9 台	○小原 一成、 蔵下 英司		随時